

事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

1 当法人の現況に関する事業

(1) 事業の経過およびその成果

事業別	予算額	決算額	達成率
育英奨学事業 (注 1)	115,682,800 円	110,370,461 円	95.4%
学術研究等助成事業	19,707,840 円	19,447,395 円	98.7%
資料館庭園運営管理事業	35,651,360 円	39,317,369 円	110.3%

(注 1) 育英奨学事業には貸与奨学金を含んでいる。

(2) 直前事業年度の財産および状況

区 分	平成 25 年度 (当該事業年度)	平成 24 年度
経常収益	171,182,113 円	150,616,122 円
評価損益等調整前当期経常増減額	15,674,796 円	37,547,907 円
当期経常増減額	20,788,103 円	245,597,967 円
正味財産期末残高	4,382,174,723 円	4,403,175,812 円

(3) 主な事業内容

事業	主要な事業の内容
育英奨学事業	奨学金の無利子貸与および給付 奨学生集会の開催
学術研究等助成事業	自然科学の研究に対する助成 自然環境保護活動に対する助成
資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営 庭園・山林・遊歩道の整備
不動産賃貸事業	集合住宅の管理運営

(4)従たる事務所の状況

名称	所在地	事業内容
東京事務所	港区新橋 5-6-4-701	首都圏の大学への当会事業の周知 収益事業である集合住宅の管理

(5)収益事業に関する事項

集合住宅名称	所在地	建物内容	入居者数	管理会社
コーポ順	東京都世田谷区	鉄筋 4 階建 771.03 m ²	13 戸	(株)日立不動産

(6)常勤役員および職員に関する事項

職名等	氏名	就任年月日	担当事務
常務理事	山崎 壽浩	平成 7.6.5	事務局総轄
管理部長	原 久晴	昭和 61.4.7	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	荒井 能弘	平成 22.9.1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	渡部 夕子	平成 2.4.1	東京事務所の事務・資料館管理
一般事務	山口 広美	平成 13.2.20	建物内管理・事務所庶務

(7)役員会等に関する事項

①理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 25.5.30	平成 24 年度事業報告・計算書類等承認の件	承認
〃	第 2 回定時評議員会招集決定の件	可決
〃	平成 25 年度新規採用奨学生選考の件	可決
〃	平成 25 年度学術研究助成の件	可決
〃	平成 25 年度自然環境保護活動助成の件	可決
平成 26.3.27	平成 26 年度事業計画・予算書類の承認の件	承認
〃	その他助成支援事業として助成金交付の件	承認
〃	法人の規程および規則制定の件	承認

②評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 25.6.20	平成 24 年度事業報告の内容報告の件	了承
〃	平成 24 年度計算書類等承認の件	承認
〃	理事および監事選定の件	可決
〃	基本財産管理規程の件	承認
〃	定款変更の件	可決

(8)株式を保有している場合の概要

企業名	保有株式数	保有割合	入手経過	企業との関係
JX ホルディングス	3,656,190 株	0.1 %	寄付受入	取引なし
北越メタル	278,000 株	1.4 %	寄付受入	取引なし

(9)対処すべき課題

無利息貸与奨学金の返還が当初計画のとおりに行われない者の数が年毎に増加している。昨年同様に、本人に事情を聴取したり連帯保証人に返還指導を願ったり返還計画の変更を認めたりして対応している。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
理事長	山口敬太郎	2年	常勤	規程による	選考委員兼務
常務理事	山崎 壽浩	2年	〃	〃	選考委員兼務
理事	三角 哲生	2年	非常勤	〃	二階堂学園理事長
〃	松木 道夫	2年	〃	〃	
〃	森地 茂	2年	〃	〃	
〃	若杉 敬明	2年	〃	〃	

(2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
監事	一色 誠一	2年	非常勤	規程による	
〃	高橋 實	2年	〃	〃	

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	西尾 進路	4年	〃	〃	
〃	古瀬 裕	4年	〃	〃	選考委員兼務
〃	福壽 道夫	4年	〃	〃	
〃	丸山 武	4年	〃	〃	
〃	佐藤 浩治	4年	〃	〃	
〃	高橋 清逸	4年	〃	〃	
〃	林 久	4年	〃	〃	
〃	岩野 宏	4年	〃	〃	

(4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	6名	17,878千円	
監事	2名	89千円	
評議員	9名	200千円	
選考委員	11名	200千円	
合計	28名	18,367千円	

事業報告の附属明細書

1. 事業に関する記載事項

(1) 育英奨学事業について

①奨学金貸与人数

区 分	継続奨学生	新採用奨学生	貸与者合計	貸与額
大学院生	6名	2名	8名	4,300,000円
大学生	42名	20名	62名	36,780,000円
留学生	8名	10名	18名	7,330,000円
合 計	56名	32名	88名	48,410,000円

②育英奨学事業として奨学助成金の交付

東京大学基金 さつき会奨学金 500万円

③奨学金返還者数

区 分	貸与奨学金返還者	返還額
大学院生	32名	5,919,000円
大学生	163名	41,418,500円
短大生	3名	490,000円
高専生	3名	428,000円
高校生	8名	549,000円
留学生	51名	11,093,414円
合 計	260名	59,897,914円

④奨学生集会

奨学生の研修指導の目的をもって、8月28日～29日(1泊2日)の日程で開催した。来賓による講演会や、環境保全活動を理解するために山林保全作業および和紙の紙漉き・うちわづくり体験を実施した。宿舎では奨学生の懇談会を実施した。内容は次のとおりである。

参加学生 40名

実施内容

1 日目	全国各地より本部に集合
	【奨学事業についての理解】
	参加役員の紹介 奨学生の自己紹介
	講演会 演題「まちづくりと建築家」 芦原太郎氏 (建築家、芦原太郎建築事務所所長、公益社団法人日本建築家協会会長)
	郷土資料館の見学
	奨学生の懇談会
2 日目	【環境保護活動への理解】
	山林保全作業（下草刈り、間伐作業体験）
	小国和紙の紙漉き、うちわづくり体験 JR 長岡駅へ移動～解散

奨学生集会参加者には貸与奨学金年額のうち、今年度採用生には 2 か月分、平成 24 年度以前の採用生には 3 か月分の返還を免除した。

⑤その他

機関誌「山びこ」46 号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

(2) 学術研究助成事業について

①研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を限度とし、総額 9,340,000 円の助成金を交付した。

1. 東京大学大学院総合文化研究科 准教授 清水 剛
研究題目 社会における組織の発展と会社形態の利用：アジア諸国の比較研究
2. 東京大学大学院農学生命科学研究科 助教 齋藤 暖生
研究題目 林木の密度管理が森林の保健休養機能に与える影響－生理指標と心理指標の検討－
3. 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林 助教 當山 啓介
研究題目 環境配慮型の高齢人工林主伐・天然林移行技術の開発

4. 新潟大学工学部 助教 落合 秋人
研究題目 イネ種子より見出された熱ショックタンパク質の構造生物学的研究
5. 新潟大学工学部 助教 村上 貴洋
研究題目 チタンの bcc 構造変化に伴う水素固溶量変化の解明とその応用に関する研究
6. 長岡技術科学大学 准教授 下村 匠
研究題目 微視的機構に基づくコンクリートの収縮・クリープモデルの開発
7. 長岡技術科学大学 准教授 マーラシンハ アーシュ
研究題目 カラーイメージングを用いたアジア地域の産業活性化に関する研究
8. 長岡技術科学大学 准教授 木村 悟隆
研究題目 小国和紙の雪晒しのメカニズムの解明
9. 新潟工科大学 教授 吉本 康文
研究題目 バイオ燃料着火二元燃料ディーゼル機関の燃焼に及ぼす EGR および過給の影響
10. 新潟工科大学 教授 角山 正博
研究題目 ファジィ測度とファジィ積分を用いた故障診断とその応用に関する研究
11. 長岡工業高等専門学校 准教授 小川 秀
研究題目 ヤマトヒメミミズの個体再生における糖鎖の機能解明
12. 長岡工業高等専門学校 准教授 床井 良徳
研究題目 液中パルス細線放電衝撃波・高圧力ハイブリット技術による新規加工技術の確立

②自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して総額 4,652,750 円の助成金を交付した。

1. 愛宕山雪椿保存会 担当者 柳田 宏光
活動名 愛宕山のユキツバキ群落の保全管理・育成
2. 小国生物友の会 担当者 高橋 實
活動名 「小国の植物」検索システムの構築とその活用
3. 学校法人 日本自然環境専門学校 担当者 宮下 尚之
活動名 わくわく子ども自然教室
4. 東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所 担当者 幸塚 久典
活動名 三浦の豊かな生物の自然環境を保護するための生物調査
5. 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 担当者 鈴木 智之
活動名 シカ排除柵による植生保護活動のための植生調査
6. 新潟大学公認同好会 いきものサークルふかみどり 担当者 佐藤 雄大
活動名 コキクガシラコウモリにおける餌生物および行動圏の解明とコウモリの生態を題材とした環境教育活動の実践
7. 下村集落振興協議会 担当者 山崎 忠吉
活動名 八石ぼたん(白根葵)の生育環境の把握と保護方策の検討
かたこ(かたくり)群生地への保護
8. 特定非営利活動法人 川に学ぶ体験活動協議会 担当者 大井 里美
活動名 川で遊んで楽しんで故郷の環境を考えよう・・・
9. 森林インストラクターと市民有志 担当者 松田 英也
活動名 自然観察林・瞑想の池浚渫工事
10. 一般社団法人 佐渡生きもの語り研究所 担当者 大石 麻美
活動名 人とトキが共生する田んぼとまなざしを育てる

③その他助成、支援事業

学術研究助成事業の「その他助成・支援事業」として

- | | |
|-------------------|--------|
| 1 公益財団法人新潟県体育協会 | 200 万円 |
| 2 公益財団法人長岡市スポーツ協会 | 100 万円 |
| 3 小国地区体育協会 | 50 万円 |
| 4 公益社団法人女子プロ将棋協会 | 100 万円 |

(3) 資料館庭園運営管理事業について

①前年度より建設中の郷土資料館「敬山閣」が完成し、開館した。

案内・解説者を雇用し、見学者の観覧に対応した。

資料館見学者数は例年の3倍にあたる約1200名となった。

山口家の歴史と事業についての映像を制作し、新潟の民放テレビ局で放映した。

②「春の遊歩道散策・植物観察会」として、当会所有の庭園と山林に整備した遊歩道を散策し植物を観察する事業を実施した。

地元の植物同好会の方から案内をしていただき、25名の一般参加があった。

③資料館、庭園、山林の案内資料として、当会のしおりを作成し配布用に備えた。

遊歩道の案内地図、案内板、展望台から見える山の案内板を作成し設置した。